

企業名：ナブテスコ

レポート名：統合報告書 2025

1. この会社が目指す姿が理解できるか

理解できた。ナブテスコは、独創的なモーションコントロール技術で、移動・生活空間に安全・安心・快適を提供するという企業理念に基づき、2030年に向けた長期ビジョンとして、未来の欲しいに挑戦し続けるイノベーションリーダーとなることを掲げている。このビジョンの実現に向けて、中期経営計画において再興と進化を重要課題として定めている。再興においては事業成長や原価低減などによる収益性改善を図り、進化においてはモーションコントロール技術をスマートモーションコントロールへ発展させ、社会ニーズに対して新たな価値を創造することを目指している。以上のように、企業理念に基づくビジョンのもとで、その実現に向けた具体的な取り組みの流れがよく理解できた。

2. この会社の競争優位性が理解できるか

理解できた。ナブテスコの主要事業は、長年培ってきたモーションコントロール技術を基盤としており、各分野で高いシェアを誇っている。具体的には、中大型産業用ロボットの関節用途である精密減速機が世界シェア約60%、船用エンジン遠隔制御システムが世界シェア約40%、建物用自動ドアが国内シェア約60%、レトルト食品用充填包装機が国内シェア約85%を占めている。このようなグローバル及び国内におけるトップクラスの高いシェアや、それに裏付けられる顧客基盤こそがナブテスコの競争優位性であると理解できた。

3. その競争優位性に持続性があるかどうか理解できるか

持続性があることが理解できた。ナブテスコは製品の販売だけでなく、保守や修理を行うMRO事業を展開しており、景気低迷時でも安定的な収益が期待できるビジネスモデルを構築している。また、フィジカルAIの進展や労働人口減少による自動化需要

の拡大を見据え、小型ロボット市場向けに RVmini や開発中の Monocrank シリーズを投入するなど、市場の変化への対応も進めている。油圧機器事業の譲渡といった事業ポートフォリオの見直しを通じて、各セグメントがバランスよく利益貢献できる体制づくりにも取り組んでいる。これらを踏まえると、競争優位性を維持・強化しようとする姿勢は十分に読み取れると思う。

4. この会社で自身の人的資本の価値向上を達成できると思うか

私はナブテスコで人的資本の価値向上を達成できると考える。

ナブテスコは、経営戦略と人財戦略を連動させるため、役割を基軸とした人財マネジメントへの転換を進めており、2024 年に管理職層、2025 年に一般職へと新制度を導入し全社展開している。また、技術系人財のスキルを可視化し、個人の成長を見据えた役割付与や自律的なリスクリング意欲の向上につなげる仕組みの検討も行われている。さらに、経営層と従業員の直接対話の機会として CEO によるタウンホールミーティングを国内外で実施するなど、エンゲージメントの向上を重視している点から、社員が自律的に成長し働きがいを実現できる環境が整っていると評価することができる。

5. 報告書のよかった点はどこか、どのような改善余地があるか

ナブテスコが企業理念に基づいてどのように企業価値を創造しているのか、各事業の財務、非財務データが図表を用いて多数組み込まれており、視覚的に非常にわかりやすかった。また、社外取締役の対話内容や現場の社員の声を取り入れた座談会が掲載されており、ガバナンスや人的資本に関する具体的な取り組みの様子が理解しやすい点もよかった。

改善余地としては、将来の競争環境の変化に対する防衛策の深掘りが挙げられる。新興メーカーの台頭や代替品の登場といった外部環境のリスクに対する具体的な防衛戦略を記載することで、さらに説得力が高まると考える。